

令和6年2月13日

長泉町議会議長

様

会 派 名 新 風

会派代表者名 長野 晋治



会派調査研究・研修報告書

このことについて、下記のとおり会派調査研究・研修を実施したので、報告いたします。

記

調査研究・ 研修者氏名	長野 晋治、米山 智
調査研究・ 研修月日	令和6年2月7日(水)～令和6年2月8日(木)
調査研究・研修地 及び事項	(1)目的地(愛知県半田市) 日 時 令和6年2月7日(水)午後1時30分～午後3時00分 内 容 総合型地域スポーツクラブについて
	(2)目的地(愛知県飛島村) 日 時 令和6年2月8日(木)午前10時00分～午前12時00分 内 容 学校教育について(小中一貫教育、英語教育、 インクルーシブ教育、奨学金制度等)
	(3)目的地() 日 時 内 容
調査研究・研修地 内容等	別紙のとおり (1) 内容 (2) 現状 (3) 町行政との相違・留意点と、研修成果による提言 (4) 添付資料



政 務 活 動 報 告 書

令和6年2月13日

- 1 日 時 令和6年2月7日(水)～2月8日(木)
- 2 研修場所 愛知県半田市、愛知県飛島村
- 3 研修日程 2月7日 半田市「総合型地域スポーツクラブ」について
2月8日 飛島村「小・中一貫教育校から義務教育学校へ」
- 4 研修内容 半 田 市

◎研修の着眼点 「半田市スポーツ推進計画と総合型地域スポーツクラブ」との相関関係

○背景1 第1次半田市スポーツ振興計画 平成14年3月策定

「平成22年度までの目標」

- ① スポーツ実施率(週1回以上する人の割合)の向上
成人市民(高齢者を含む)50%の達成
- ② 総合型地域スポーツクラブへの加入率の向上
小・中学生の60%以上を含む、市民加入率20%の達成

○ 政策目標実現の

- だれでも、いつでも、いつまでもスポーツに親しめる環境・システムとしての総合型地域スポーツクラブの整備
- トップアスリートを目指す青少年の夢にこたえる育成環境・システムとしての広域スポーツセンターの整備を図る。

○背景2 第2次半田市スポーツ振興計画 平成27年見直し

「平成22年度～令和2年度までの目標」

- ① 成人市民スポーツ実施率(週1回)
35.75% → 65.00% 平成29年度現在 47.43%
- ② 総合型地域スポーツクラブ会員数
9,744人 → 9,000人 平成31年度現在 7,286人

{実施計画}

- 計画1 活動プログラムの充実(スポーツに親しむスポーツの日を設ける)
- 計画2 スポーツ情報の充実(スポーツ情報を様々な媒体を利用し提供する)
- 計画3 スポーツ施設の整備・活用(平日の昼間時間帯の活用・利用促進)
- 計画4 スポーツ推進審議会の設置(スポーツ推進に関する事項を審議する)
- 計画5 総合型地域スポーツクラブ活動の充実(人材の確保・養成、活動拠点の確保、活動プログラムの充実など)
- 計画6 スポーツ意識の向上

○背景 3 第3次半田市スポーツ振興計画

「令和3年度～令和12年度までの目標」

① 成人市民スポーツ実施率(週1回)

43.30% → 65.00% 令和2年度現在 65.00p%

② 総合型地域スポーツクラブ会員数

7,487人 → 8,000人 令和2年度現在 8,000人

{実施施策}

施策1 活動プログラムの充実(スポーツ活動への参加機会の充実)

施策2 スポーツ情報の発信強化(ライフステージに合った情報提供の充実)

施策3 スポーツ施設の整備・活用(平日の昼間時間帯の活用・利用促進)

施策4 スポーツの推進に向けた施策の調査・研究(スポーツ推進に関する事項を審議する)

施策5 総合型地域スポーツクラブ活動の充実(人材の確保・養成、活動プログラムの充実、部活動の充実)

施策6 スポーツ意識の向上(オリ・パラやアジア競技大会)

施策7 スポーツの場における感染症拡大防止対策(新型コロナウイルス等)

※ CF「行政視察資料参照」

2 半田市内の総合型地域スポーツクラブ

1 総合型地域スポーツクラブの概要

平成23年度に文部科学省が策定した「スポーツ基本計画」に基づき、各市区町村に少なくとも1つは「総合型地域スポーツクラブが育成されることを目指す」とされている。半田市では、全国に先駆けて総合型地域スポーツクラブの育成に取り組んでいる。今後も地域、学校、行政が連携し、より一層の融合に努めていく。

- 半田市には、成岩地区、亀崎地区、青山地区、乙川地区、半田地区にそれぞれ、1つのスポーツクラブが存在するが、成岩地区にある総合型地域スポーツクラブの利用者は、年会費を個人的に納入し、地域が主体を担っている。

3 総合型地域スポーツクラブの活動支援

○学校体育施設開放

○総合型地域スポーツクラブ連携事業

○地域認定スポーツアシスタント

- ・各スポーツクラブ別認定者数
- ・減免対象施設

4 成岩地区相合型地域スポーツクラブハウス

5 総合型地域スポーツクラブと中学校部活動の連携

視察報告

視察日 令和6年2月8日

視察先 愛知県飛島村

研修テーマ 飛島村の学校教育について

会派 新風

長野 晋治

1. 内容

(1) 小中一貫教育校から義務教育学校へ

平成22年小中一貫教育校として開校

令和2年義務教育学校へ移行

1人の校長、1つの教職員集団で9年間の教育を行う

入学から9年先を見据え、だれもが9年後の自分を描き、9年前の自分を振り返ることができる学校づくりを目指している

(2) 飛島学園の特徴

①校舎施設

学年ユニットは4-3-2の構成となっており、初等部を1階、中高等部を2階に配し、中心に共有ゾーンであるメディアセンターと共に中庭の広場を囲む形で回遊動線を形成している。図書館を兼ねたメディアセンターでは上級生が下級生に読み聞かせをする姿も見られる。

また、ふれあいホールは全生徒と教員が一同に給食が食べられるカフェテリアとなっている。

建物が空間が広く、開放的で、初等部の教室と廊下の壁が無く、吹き抜けもあり、どこからでも子どもの姿が見渡せる。

②特徴的な英語教育

ALTによる授業とは別に月曜日の6時限目を活用し英語教室を開催

海外派遣事業に向けた英会話や、8年生の英検に向けた学習会を実施

コミュニケーション能力の素地や基礎を養っている

前期、後期15回ずつの開催で参加料はそれぞれ1人7500円

2. 町行政との相違点、町行政への提言

飛島村の全生徒数は400人余りで1つの校舎で義務教育学校を設立しているが、当町の2つの中学校、3つの小学校を1つにまとめるのは物理的に困難である。

しかしながら、校舎が別でも小中教育一貫校を実施しているところもあり、そのメリット、デメリットを良く見極めていきたい、

げこうでも、小中学校の生徒、教員間それぞれにもっと交流を持つべきである。